

JSBBA KANTO

公益社団法人日本農芸化学会関東支部 2023年度企業イベント

日本農芸化学会関東支部 2023年度企業イベント ～企業で活躍する先輩からのメッセージ～ が、2023年11月18日(土)にZOOMによるウェビナー形式で開催されました。

本イベントは、将来のキャリアとして企業への就職を考える院生・学部生に対して、企業の第一線で活躍中の先輩方の生の声をお伝えし、会社生活や将来像などを具体的にイメージしてもらうことを目的として、開催しているものです。

コロナ禍を機に始まったウェビナー形式による本イベントですが、今回も昨年に引き続き、ウェビナー形式での開催と致しました。

オンラインでの開催の効果もあり、北海道から九州まで36の学校から139名のエントリーがあり、当日も100名を超える参加者数となりました。質疑応答では、事前に53題が集まり、さらに当日も講演内容に対して、個別質問も多く集まり、学生の興味の高さが伺えました。

当日の講師と演題(敬称略) 食品企業6社

1. 五十嵐 貴之(キッコーマン株式会社 研究開発本部)
「キッコーマンの研究開発～おいしい記憶をつくるために～」
2. 圃 彰吾(白鶴酒造株式会社 研究室)
「日本酒を変える・超える:白鶴酒造の研究開発」
3. 豊田 早紀(アサヒビール株式会社 酒類技術研究所)
「"未来のおいしいをつくる"アサヒグループの微生物研究」
4. 宮路 正昭(JSR株式会社 JSR Bioscience and informatics R&D center)
「化学からライフサイエンスへ、JSRの研究開発」
5. 下段 詩絵理(株式会社ファンケル 総合研究所 基盤技術研究センター)
「ファンケルの研究開発ー世界中を、もっと美しく、ずっと健やかにー」
7. 大野 和也(森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所 腸内フローラ研究室)
「森永乳業の研究開発 ～かがやく"笑顔"のために～」

JSBBA KANTO

講演では、企業紹介、業務や研究についての紹介、企業の研究者を目指した理由、社会人としてのキャリアパス学生への期待やアドバイス等々、興味深い話が満載で、学生にとって有意義で実りある講演内容でした。

事前に頂いた53題の質問のうち、全社に共通と思われる質問については、発表内容に入れて頂きました。また、当日にも各社個別の質疑はZOOMのQ&A機能を活用して行いました。匿名での投稿ができることもあり、積極的に多くの質問がありました。その全てに対し、質問時間が終わっても丁寧に講演者から回答して頂き、各社の想いや魅力を知りやすく発信して頂きました。参加者数やリアルタイムでの質問の多さから、画面の向こうからの学生の熱気を感じることができ、また遠隔地からの参加者も多く、オンラインの特長を活かした開催でした。

学生の皆さんからは、「普段聞くことのできない企業での研究のことについて非常に濃い話を聞いてよかった」、「食品や化学の研究職を選んだ理由を聞くことができ、自身の就職活動について改めて確認するきっかけになった」、「面接官の立場から、どのように学生を見てどこを評価しているのかをお聞きできて為になった」、といった感想をアンケートで頂きました。

今回のイベントが皆さんの今後の学業、研究、進路探しのモチベーションにつながることを主催者一同、願っております。

(報告者 伊藤考太郎)

各社講演の様子



パネルディスカッションの様子